2021.09.19

MESSAGE NOTES

２つの真実と向き合う

エペソ人への手紙 3:20

ロイド・フラハティ

エペソ人への手紙 3:20

「どうか、私たちのうちに働く御力によって、私たちが願うところ、思うところのすべてをはるかに超えて行うことのできる方に」

1.目の前の真実とより深い真実

２つのタイプの真実があり、どちらも同じく本物であることを理解しましょう。目の前の真実と向き合いつつ、より深い真実を受け入れましょう。

「今、負けたように感じているけど、神様は不可能を可能にできる方だと知っている。」(エペソ人への手紙 3:20)

「頭は混乱しているけど、私の心はイエス様に従う。」(ヤコブの手紙 1:5)

「怖いけど、私の内におられる方はこの世にいる者より偉大な方。」(1 ヨハネの手紙 4:4)

「神様に見捨てられたように感じるけど、神様は私を決して見放さないし、見捨てはしない。」(申命記 31:8)

2. 神様に頼って助けを求める

詩篇 40:2「滅びの穴から泥沼から主は私を引き上げてくださった。私の足を巌に立たせ私の歩みを確かにされた。」

最近は、今まで以上に、人々は自分の限界を理解するようになっています。お互いに祈り合いましょう。「わたしのために祈って」と頼みましょう。あなたは一人ではありません。

マタイの福音書 7:7「求めなさい。そうすれば与えられます。探しなさい。そうすれば見出します。たたきなさい。そうすれば開かれます。」

まとめ:

絶望、混乱、恐れはとても現実的なものかもしれませんが、それにしがみついて持ち続けないようにしましょう。すべてのことを可能にし、私たちと共におられ、滅びの穴、泥沼から私たちを引き上げ、私たちの足を固い岩の上に立たせてくださる神様を受け入れましょう。